2018年　韓国国際ジュニア
本大会・遠征レポート

遠征期間　：2018年　8月15日（水）～8月25日（土）
第1戦　：2018　KETF　KOREA　INTERNATIONAL　JUNIOR　CHAMPIONSHIPS　SERIES 1 / Sunchang
第2戦　：2018　KETF　KOREA　INTERNATIONAL　JUNIOR　CHAMPIONSHIPS　SERIES 2 / Yanggu

8月15日（水）
出発
金浦空港・仁川空港

各選手期待と不安を持ちながら日本を飛び立ち、いざ韓国へ。
金浦空港と仁川空港に到着後、第１戦会場の「スンチャン」に移動。送迎バスで3時間半の道のりです。
テニスという同じスポーツで切磋琢磨する仲間同士打ち解け合い、すぐに仲良くなりました。

宿泊ホテル

第1戦会場の宿泊ホテルに到着。ホテルにチェックインした後、軽いアップを行いました。
夕食はホテルの食堂で初めての韓国料理を食べました。
大会期間中の朝食は、ライスバーガーやホットサンド、海苔巻き。昼食は試合の合間にとんかつ弁当やカラアゲ丼を食べました。

8月16日（木）～
8月20日（月）
第１戦スタート

第１戦、スンチャン大会が行われました。会場はインドアクレーコート8面・ハードコートが14面ある広大な施設で行いました。女子選手がクレーコート、男子選手がハードコートでの試合です。
日本チームは毎日早朝から練習を行い、試合に臨みました。日本チーム大活躍。
10歳以下男子単準優勝、3位　12歳以下女子複優勝、単3位という好成績を収めました。

レセプション パーティ

8/16（木）レセプションパーティーに、大会関係者・各国選手とともに招待され盛大に行われました。国別に分かれて着席。市長や連盟会長等の挨拶から国別のチーム紹介があり、乾杯、食事という具合に進みました。食事はビュッフェスタイルで、マナー良く食事をとりながら楽しい時間を過ごしました。

交流マッチ練習

トーナメントで敗退した選手は、メイン会場と近くの高校のコートに分かれて練習試合を沢山行いました。小学校時代から外国人選手と試合が出来るのは凄く貴重な経験です。言葉の壁など関係ありません。身振り手振りで状況を打破しようとしていました。その対応力に驚きです。
期間中は、番外トーナメントも行いました。選手たちは本大会さながらの集中力で頑張りました。

サービスコンテスト Part 1

8月17日（金）朝9時から全選手によるサービスコンテストが行われました。
試合の時とは一味違った真剣さでサーブを打っていました。見事に的を当てた選手達は、色々な商品を受け取り喜んでいました。

第2戦へ移動
宿泊ホテル

8月20日（月）第1戦の表彰式後、第2戦会場のある「ヤング」へバスで移動しました。
第2戦会場の宿泊ホテルに到着。ホテルにチェックインした後、ホテル内の食堂で夕食を摂りました。明日の勝利を目指してたくさん食べました。

8月21日（火）～
8月25日（土）
第2戦スタート

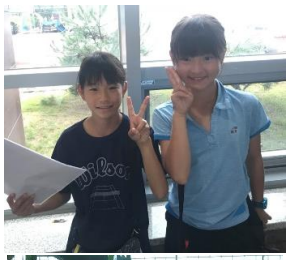
第2戦の会場「ヤング」では、3回戦まで試合会場が2会場に分かれて行われました。
各会場にて早朝練習を行い試合に臨みました。2大会目ということで、みんな奮起して、多くの選手が初戦を勝ちあがりました。ここでも日本選手は大活躍。
10歳以下男子単複優勝、12歳以下女子複準優勝という好成績を収めました。

サービスコンテスト
Part　2

8月22日（水）朝8時30分からスンチャンに引き続き全選手によるサービスコンテストが行われました。
賞品が絡むと目の色が変わるジュニア達。中にはラケットを当てている日本人選手もいました。

タイブレーク トーナメント

8月24日（金）の午後は、連盟主催の「各国参加タイブレークマッチ」を緊急開催。
台風の影響で本来社会見学の予定を見合わせたため開催に至りました。
韓国/中国/台湾/タイ/ネパールと各国の選手が一堂に参加。
ここでも日本人選手が大活躍。各カテゴリーの優勝を総なめにしました。タイブレークという短期決戦で求められる集中力を見事に発揮しました。



番外編 こんな施設でした

スンチャン　試合会場/ホテル

ヤング　試合会場/ホテル/買い出し用スーパー

総　評

今回参加された選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。
毎朝5時30分にホテル出発、暗い中での練習から丸一日練習マッチ。
日本と変わらないかなり蒸し暑い中での11日間。
2大会を連戦する海外ツアーをジュニアで経験する事は、なかなか
出来る事ではありません。
この遠征では将来プロへと進む選手の予行演習と位置付けております。
11日間と短い期間でしたがテニス漬けになった事を今後の糧として
役立てて頂けると幸いです。

最後になり恐縮ですが、このような貴重な体験をお与えくださった
保護者の皆様、ご協力頂いた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

2018韓国国際ジュニア大会・引率ディレクター　島浦　亮